

興

【5年】
 コウ・キョウ
 おこる・おこす

16画
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 四本の手を表し、一緒に物を持ち上げる意味の興と同一の会意形声字。共同して物を持ち上げることを、転じて、興す、盛んにすること。また、「気分が高まる」こと。転じて、「面白く感ずること」。



【いみじゆく】
 ▼興る。興す。盛んになる。する。読み方は「コウ」。
 興隆：物事が盛んになること。

用例 国家の興隆。
 興奮：①感情が高ぶること。用例 興奮した群衆。②刺激を受けて神経や体の働きが盛んになること。例 興奮剤 復興：一度衰えたものが再び盛んになること。また、盛んにすること。例 文芸復興 興亡：興ることと亡（逝）びること。用例 古代国家の興亡。面白く感ずること。読み方は「キョウ」。

興味：面白いと感ずること。用例 興味を引かれる。余興：宴会などで面白味を添えるためにする演技。よみかた 興趣・興行・興廢・感興・再興・座興・振興・即興・中興・不興・遊興

興典

典

【4年】
 テン

8画
 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 書物をかたどり、書物の意味を表した冊と、物を載せる台を表した六つの会意字で「貴重な書物」であることを表した字。「經典」。古くからの仕来り「儀礼・法」などの意味に用いられる。



【いみじゆく】
 ▼貴重な書物。
 古典：①古い時代に書かれた価値のある書物。②古くして価値のある文化や芸術。例 古典主義

經典：①聖人や賢人の教えを書いた本。②仏教などで、その教義を書いた本。「きようてん」と読む。辞典：辞書。言葉を解説した本。古くからの仕来り。典故：古くからの仕来りや例。法：規則。基準。法典：①法律。②法規を秩序立ててまとめた書物。典拠：模範や基準となるもの。用例 典型的な官僚。儀礼：儀式。式典：儀式。

よみかた 典拠・典範・典礼・祭典・祝典・特典・宝典

共

【4年】
 キョウ
 とも

6画
 一 一 一 一 一 一

なりたち 祭りの道具の形の甘と、両手を表した六つの会意字。両手を一緒に揃（そろ）えて祭りの道具を捧（たも）げ「供える」ことを表した字で、「供える」の本字。今は「一緒（共）」にの意に用いられる。



【いみじゆく】
 ▼一緒に。共に。共同：何人かで一緒にすること。例 共同作業・共同募金 共有：共同で所有すること。例 共有財産 共用：共同で使用すること。例 共用スペース 共存：複数の人や物などが一緒に存在すること。例 共存共栄 存共栄 共栄：共に栄えること。共生：異種の生物が一緒に住んで生きていること。共学：一緒に学ぶこと。特に男女が同じ学校で学ぶこと。共感：他人の意見や考えに、全くそうだと感ずること。▼「共産主義」や「共産党」の略。反共：共産主義に反対の立場。よみかた 共済・共催・共著・共通・共闘・共鳴・公共

共産主義：共産主義に反対の立場。よみかた 共済・共催・共著・共通・共闘・共鳴・公共

よみかた 共済・共催・共著・共通・共闘・共鳴・公共

共供

供

【6年】
 キョウ・ク
 そなえる・とも

8画
 一 一 一 一 一 一 一 一

なりたち 供えるの意味の共とイ（にんべん）との会意形声字。共が専ら「一緒」の意味に用いられるようになったため、共に人を加えて「供える」ことを表した。また、「共にする人」ということで、「お供（従者）」の意味に用いられる。



【いみじゆく】
 ▼供える。神仏に捧（たも）げる。供養：仏教で、仏や死者に物を捧（たも）げて冥福（めいふく）を祈ること。例 霊前供養 供物：神仏に供える品物。▼差し出す。提供：自分の持っているものを差し出すこと。用例 情報提供 提供する。供出：民間の物を国に売り渡したり、差し出したりすること。例 供出米 供もてなす。供応：客に御馳走（ごちそう）を出して、もてなすこと。▼述べる。供述：取り調べに対して事情を述べること。例 供述書 ▼お供。従者。供人：お供をする人。従者。供侍：お供をする武士。よみかた 供給・子供・自供

よみかた 供給・子供・自供

よみかた 供給・子供・自供